

博士後期課程薬科学履修コースの授業科目

2024年4月1日現在

主 科 目 (特別講義、特別演習、特別研究)		
生 命 薬 化 学	衛 生 化 学	微 生 物 薬 品 化 学
生 体 分 子 解 析 学	公 衆 衛 生 学	薬 剤 学
薬 品 製 造 化 学	生 化 学	創 薬 物 理 化 学
医 薬 品 化 学	薬 理 学	漢 方 薬 理 学
生 物 分 子 設 計 学	分 子 薬 理 学	
生 薬 学	微 生 物 学	

博士後期課程薬科学履修コースの募集専門分野

2024年4月1日現在

専門分野	指導教員	研 究 内 容
生 命 薬 化 学	藤井 秀明 (教授) 伊藤謙之介 (准教授)	1. オピオイド受容体またはグレリン受容体に作用する薬物の設計と合成 2. 薬物受容体と薬物の相互作用の研究 3. 鎮痛薬、薬物依存症治療薬、抗うつ・抗不安薬治療薬の研究開発 4. 新規有機光反応の開発
分 析 化 学	加藤くみ子 (教授) 杉木 俊彦 (准教授)	1. 革新的医薬品 (ペプチド・ナノ医薬品等) の物性と動態に関する研究 2. 医薬品等の分析法に関する研究 3. モデル生物 (線虫・シロイヌナズナ) を用いた遊離 D型アミノ酸の生理機能に関する解析研究 4. 細菌及び哺乳類の立体特異的アミノ酸代謝関連酵素に関する解析研究
薬 品 製 造 化 学	長光 亨 (教授) 大多和正樹 (准教授)	1. 有用な生物活性を有する天然有機化合物の全合成研究 2. 創薬を指向した天然有機化合物の構造活性相関研究 3. 天然有機化合物の合成に応用可能な新規反応の開発 4. 未知な作用機作を有する天然有機化合物のプロープ分子の作製
医 薬 品 化 学	牧野 一石 (教授)	1. 有機触媒及び有機金属触媒による不斉合成法の開発 2. 糖鎖及び配糖体の合成に関する基盤技術の開発 3. ペプチド合成に関する基盤技術の開発 4. 生物活性有機分子の化学的合成
生 物 分 子 設 計 学	志鷹真由子 (教授)	コンピュータを用いた創薬情報科学研究 1. タンパク質の分子認識 (タンパク質-タンパク質、タンパク質-薬物などの相互作用)、機能に関する計算科学的手法の開発・応用 2. タンパク質立体構造予測法 (タンパク質複合体構造、タンパク質水和構造など) の開発・応用 3. 化学構造情報を用いた機械学習による創薬効率化に向けた研究

専門分野	指導教員	研究内容
生薬学	小林 義典 (教授) 白畑 辰弥 (准教授)	<p>伝統的薬用・食用植物及びその含有成分に関する評価解析研究</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. メタボローム解析による品質評価 2. 有用植物の保存、栽培、収穫、加工（修治） 3. 活性評価（<i>in vivo</i>, <i>in vitro</i>） 4. 活性成分の単離・同定と構造研究 5. 作用メカニズム解析 6. 創薬を目標とした天然化合物の化学修飾・全合成
衛生化学	今井 浩孝 (教授)	<p>酸化ストレスによる疾患のメカニズム、予防法、治療法の解析</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 酸化脂質が起因となる疾患モデルマウスの解析 2. 脂質酸化による新規細胞死の実行経路の解明 3. 脂質酸化に应答する細胞生存シグナル経路の同定 4. 腸内細菌叢変化による心不全抑制機構の解析 5. 新規細胞増殖抑制、老化細胞シグナル経路の解明
公衆衛生学	清野 正子 (教授) 高根沢康一 (准教授)	<p>メチル水銀をはじめとする有害物質の生体防御機構の解明及び環境浄化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オートファジーによるメチル水銀毒性防御機構の解明 2. 無機水銀、有機水銀に対する細胞応答機構の解析 3. 低濃度メチル水銀の解毒剤の探索 4. 水銀耐性菌におけるメチル水銀等の有害物質の輸送機構の解析及び輸送体を用いた環境浄化技術の開発 5. モデル植物（イネ・シロイヌナズナ）を用いたメチル水銀等の有害物質の輸送・耐性機構の解析
生化学	奥脇 暢 (教授)	<p>細胞のがん化とがんの悪性化の分子機構の解明及び抗ウイルス薬開発</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 核小体機能と細胞のがん化 2. ERK及びp38MAPキナーゼ基質の網羅的同定 3. 染色体転座による細胞のがん化機構 4. 抗インフルエンザ薬の開発
薬理学	田辺 光男 (教授)	<p>中枢神経系疾患の病態とその治療薬の理解を深め、さらに新規治療薬開発に向けた戦略的知見を得る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 慢性疼痛・痒みの病態発症・維持機構の解明とその治療薬開発に向けた多面的アプローチ 2. ストレス応答の解明と抗うつ・抗不安薬開発に向けた探索研究 3. 中枢神経特異的蛋白質リン酸化酵素の活性酸素制御機序と生理機能の解析、及び特異的阻害剤の検索における機能解析
分子薬理学	中原 努 (教授)	<p>眼疾患の病態解明と新規薬物治療法開発のための基礎研究</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 網膜における神経グリアー血管連関の成立・維持機構の解明 2. 網膜症の発症・進行機序の解明と治療薬の探索 3. 緑内障の発症・進行機序の解明と治療薬の探索 4. 網膜色素変性症の発症・進行機序の解明と治療薬の探索

専門分野	指導教員	研究内容
微生物学	金 倫基 (教授)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 腸内細菌が感染症・炎症性・代謝性疾患に与える影響の解明 2. 病原細菌における感染分子機構および宿主防御機構の解明 3. 女性生殖器常在乳酸桿菌における有用性機能の解析
微生物薬品化学	大城 太一 (教授)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 微生物資源からの生活習慣病（脂質異常症や脂肪肝など）、がん及び感染症（非結核性抗酸菌症や結核など）に有効な新規生物活性物質の探索 2. 微生物由来生物活性物質の作用機序解析 3. 微生物由来生物活性物質の生合成に関する解析 4. 微生物由来生物活性物質の <i>in vivo</i> レベルでの有効性の証明
薬 剤 学	前田 和哉 (教授)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物動態の定量的予測に資する新規 <i>in vitro</i> 実験系・解析法の構築 2. 数理モデル解析を活用した薬物の体内動態の定量的予測 3. 輸送担体の遺伝子変異が輸送機能の変動に与える影響の解明 4. 輸送担体を介した薬物吸収における薬物間／薬物-食品間相互作用の解明
創薬物理化学	田中 信忠 (教授) 山乙 教之 (准教授)	<p>コンピュータによる合理的医薬分子設計 (structure-based/ligand-based drug design)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. タンパク質の立体構造解析 2. 生体高分子と薬物との相互作用に関する計算化学研究（分子軌道法／分子動力学法計算、リガンドドッキングスタディ、結合自由エネルギー計算） 3. イン・シリコスクリーニング 4. パターン認識や多変量解析による薬物の三次元定量的構造活性相関解析 5. 分子動力学シミュレーションによる標的蛋白質の溶液構造解析
漢方薬理学	日向須美子 (准教授)	<p>漢方薬や生薬の薬効解析とその分子メカニズムの解明</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 漢方薬の抗がん剤誘発末梢神経障害性疼痛の緩和作用とその分子メカニズムの解明 2. 漢方薬の炎症性疼痛に対する鎮痛作用とその分子メカニズムの解明 3. 新規生薬エキス・エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス（EFE）の薬効解析 4. がん細胞の発現する増殖因子受容体に対する麻黄やEFEのダウンレギュレーション作用の解明 5. 脳内炎症に着目した香蘇散の抗うつ様作用メカニズムの解明 6. ノビレチン高含有陳皮配合香蘇散のうつ発症抑制に対する有効性評価

博士後期課程臨床統計学履修コースの授業科目

2024年4月1日現在

専門分野	授 業 科 目
臨 床 統 計 学	臨 床 統 計 学 特 別 講 義
	臨 床 統 計 学 特 別 演 習
	臨 床 統 計 学 特 別 研 究

博士後期課程臨床統計学履修コースの募集専門分野

2024年4月1日現在

専門分野	指導教員	研 究 内 容
臨 床 統 計 学	成川 衛 (教授) ※医薬開発学 と兼務	<ol style="list-style-type: none"> 1. 左側切断と右打ち切りがある依存性競合リスクデータのベイズ流解析 2. リッジ型Cox回帰におけるコンピュータで構成した同時事前分布に基づく回帰係数のベイズ推定 3. RNAシーケンスに基づく癌患者の予後予測モデルの構築 4. 臨床試験データの解析 5. 臨床予測モデル構築における最適なカットオフ値決定手法の提案

博士後期課程医薬開発学履修コースの授業科目

2024年4月1日現在

専門分野	授業科目	
医薬開発学	医薬開発学特別講義	
	医薬開発学特別演習	
	医薬開発学特別研究	

博士後期課程医薬開発学履修コースの募集専門分野

2024年4月1日現在

専門分野	指導教員	研究内容
医薬開発学	成川 衛 (教授)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新薬の開発戦略設計時の留意事項 2. 市販後安全対策の立案と実施 3. 初期臨床開発の効率化 4. 抗悪性腫瘍薬の開発戦略 5. 薬効評価に与える民族的要因の影響評価 6. リアルワールドデータの医薬開発への応用 7. 薬事関連行政施策の評価及びその効果的な利用

博士課程薬学履修コースの授業科目

2024年 4 月 1 日現在

主 科 目 (特別講義、特別演習、特別研究)		
薬物治療学Ⅰ特別講義	薬物治療学Ⅰ特別演習	薬物治療学Ⅰ特別研究
医療安全管理学特別講義	医療安全管理学特別演習	医療安全管理学特別研究
薬物治療学Ⅲ特別講義	薬物治療学Ⅲ特別演習	薬物治療学Ⅲ特別研究
薬物治療学Ⅳ特別講義	薬物治療学Ⅳ特別演習	薬物治療学Ⅳ特別研究
地域医療薬学特別講義	地域医療薬学特別演習	地域医療薬学特別研究
臨床薬学教育特別講義	臨床薬学教育特別演習	臨床薬学教育特別研究
生体制御学特別講義	生体制御学特別演習	生体制御学特別研究
薬物動態学特別講義	薬物動態学特別演習	薬物動態学特別研究
中毒学特別講義	中毒学特別演習	中毒学特別研究
医療心理学特別講義	医療心理学特別演習	医療心理学特別研究

博士課程薬学履修コースの募集専門分野

2024年 4 月 1 日現在

専門分野	指導教員	研 究 内 容
薬物治療学Ⅰ	尾鳥 勝也 (教授) (北里大学病院 薬剤部長)	医薬品の適正使用に関する研究 1. がん患者における抗悪性腫瘍剤の適正使用に関する研究 2. がん化学療法における支持療法に関する研究 3. 緩和医療における薬物療法の適正使用に関する研究 4. 精神科領域における臨床研究 5. 感染症における抗菌薬の適正使用に関する研究 6. 経管投与患者における医薬品の最適な投与方法に関する研究 7. 医薬品使用評価 (MUE) による薬物療法の適正化に関する研究 8. 医療情報データベースを活用した薬剤疫学研究 9. 医薬品開発に用いられる情報に関する研究
医療安全管理学	平山 武司 (教授) ※薬物治療学Ⅲ と兼務 菅原 充広 (准教授) ※薬物治療学Ⅳ と兼務	医療における安全管理及び医薬品の適正使用に関する研究 1. 医療事故における要因分析及び安全対策に関する研究 2. 薬物治療における有害事象の発生要因及び予防に関する研究
薬物治療学Ⅲ	平山 武司 (教授) (北里研究所病院 薬剤部長)	薬物治療に関する薬学的評価 1. 糖尿病療養指導の実践とその有用性に関する研究 2. 糖尿病治療薬の適正使用に関する研究 3. 周術期抗菌薬の適正使用に関する研究 4. 炎症性腸疾患に関する研究 5. 輸液・栄養管理に関する研究 6. 緩和医療における薬物療法の適正化に関する研究

専門分野	指導教員	研究内容
薬物治療学Ⅳ	菅原 充広 (准教授) (北里大学 メディカルセンター 薬剤部長)	<ol style="list-style-type: none"> 病院薬剤師のファーマシューティカルケアに関する研究 <ol style="list-style-type: none"> HD (hazardous drugs) 曝露に配慮した取り扱いと経管投与に関する研究 糖尿病治療薬の適正使用に関する研究 COVID-19 に関する研究 消化器疾患治療薬の適正使用に関する研究 バイオマーカーや生体反応を指標とした病態および薬物治療の評価に関する研究
地域医療薬学	根岸 健一 (教授) 川上 美好 (准教授)	<ol style="list-style-type: none"> 薬剤師・薬局の地域医療における貢献に関する研究 要指導医薬品・一般用医薬品の適正使用に関する研究 薬物療法の安全性・有効性向上に関する研究 地域住民の健康支援における薬剤師・薬局の役割に関する研究
臨床薬学教育	久保田理恵 (教授)	<p>薬学教育に関する研究</p> <ol style="list-style-type: none"> 教育手法の評価に関する研究 学習成果の評価に関する研究 <p>薬物治療の適正化に関する研究</p> <ol style="list-style-type: none"> 医薬品の適正使用に関する研究 医薬品の副作用評価に関する研究 医療経済に関する研究
生体制御学	鈴木 雄介 (教授)	<p>各種疾患モデルおよび患者検体を用いた病態解明及び薬物評価に関する研究を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 肺がんにおけるがん免疫 IBDにおける腸管免疫 アレルギー疾患における免疫
薬物動態学	小林 昌宏 (准教授)	<p>薬物動態学および薬力学に基づいた薬物投与設計に関連する研究を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 薬物動態処方支援システムの開発に関する研究 薬物動態解析ソフトウェアの開発に関する研究 臨床薬物動態学の教育手法の改善に関する研究 母集団薬物動態解析と投与設計に関する研究 法的脳死判定に影響を与える薬物の判断手順の確立に関する研究
中毒学	尾鳥 勝也 (教授) ※薬物治療学Ⅰ と兼務	<p>中毒・救急医療における診断・治療の科学的根拠となる基礎的研究</p> <ol style="list-style-type: none"> アセトアミノフェン中毒の新規バイオマーカーに関する研究 タバコによるニコチン中毒の毒性評価に関する研究 新規乱用薬物中毒の毒性評価に関する研究 金属及び元素物質による中毒の分析学的研究 活性炭吸着療法の新規選択基準の検討
医療心理学	有田 悦子 (教授)	<p>適切な医療者－患者関係構築のために患者心理の理解を目的とする研究を実践している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 医療者－患者間のコミュニケーションに関する研究 患者心理と治療態度・効果に関する研究 治療選択時（治験参加時）の意志決定に関する研究 医療人教育に関する研究

獣医学系研究科獣医学専攻博士課程の授業科目

2024年4月1日現在

主 科 目	関 連 科 目
獣医解剖学特別講義及び同特別演習・同特別実験 獣医生理学特別講義及び同特別演習・同特別実験 獣医生化学特別講義及び同特別演習・同特別実験 獣医薬理学特別講義及び同特別演習・同特別実験 獣医病理学特別講義及び同特別演習・同特別実験 獣医微生物学特別講義及び同特別演習・同特別実験 獣医内科学特別講義及び同特別演習・同特別実験 獣医外科学特別講義及び同特別演習・同特別実験 獣医繁殖学特別講義及び同特別演習・同特別実験 大動物臨床学特別講義及び同特別演習・同特別実験	人獣共通感染症学特別講義及び同特別演習・同特別実験 獣医寄生虫学特別講義及び同特別演習・同特別実験 獣医放射線学特別講義及び同特別演習・同特別実験 獣医衛生学特別講義及び同特別演習・同特別実験 獣医伝染病学特別講義及び同特別演習・同特別実験 獣医公衆衛生学特別講義及び同特別演習・同特別実験 実験動物学特別講義及び同特別演習・同特別実験 毒性学特別講義及び同特別演習・同特別実験 獣医学特別講義

獣医学系研究科獣医学専攻博士課程の募集専門分野

2024年4月1日現在

専門分野	指導教員	研 究 内 容
獣医解剖学	吉岡 一機 (教授)	1. 鳥類の形態学的特徴に関する解剖学的研究 2. 肝機能に関する比較形態学的研究 3. 器官の構築性に関する比較解剖組織発生的研究 4. 野生動物に関する比較形態学的研究
獣医生理学	久留主志朗 (教授)	1. 生殖に関わる内分泌機構 2. 黄体相の調節機構 3. 新規生理活性物質の機能解明 4. 各種病態生理モデルの解析
獣医生化学	折野 宏一 (教授)	1. 鉄代謝に関する研究 2. 鉄と酸化ストレスの関係 3. DNA損傷修復機構の解明 4. 伴侶動物における分子代謝学的並びに腫瘍学的研究
獣医薬理学	山脇 英之 (教授)	1. 循環器疾患の病態機序解明と治療薬の探索 2. 新規アディポサイトカインの心血管系における役割 3. 心臓リモデリングと細胞外マトリックス分解産物との関連 4. 薬物の心・血管反応性とイオンチャネル電流に及ぼす影響
獣医病理学	川口 博明 (教授)	1. 伴侶動物の腫瘍病理学 2. 動物の乳頭腫ウイルス感染症の病理学
獣医微生物学	田邊 太志 (教授)	1. 抗菌剤、抗ウイルス剤を用いた感染治療のための基礎研究 2. <i>Pasteurella multocida</i> 由来新規病原性因子の解析 3. 病原体間の相互作用の分子機構の解析 4. 牛RSウイルスの細胞内侵入機序の解明
獣医内科学	金井 一享 (教授) 亀島 聡 (准教授)	1. 小動物の眼科疾患に関する研究 2. 犬の僧帽弁疾患に関する研究 3. 小動物の肺高血圧症に関する研究 4. 小動物の心筋症に関する研究

専門分野	指導教員	研究内容
獣医外科学	岡野 昇三 (教授) 左近允 巖 (教授)	1. 手術侵襲に対する生体反応に関する研究 2. ショックの病態及び治療に関する研究 3. 周術期の疼痛管理に関する研究 4. インプラントを用いた骨折治療における力学的研究
獣医繁殖学	坂口 実 (教授)	1. 牛の発情行動と授精適期との関係に関する研究 2. 牛の子宮内膜炎の診断法と治療法に関する研究 3. 種々の繁殖条件下における血中性ホルモンの動態に関する研究 4. ホルモン受容体の解析に関する研究 5. 動物精液の処理に関する研究
大動物臨床学	高橋 史昭 (准教授)	1. 牛の生産病に関する臨床栄養学的及び免疫学的研究 2. 牛の周産期における感染症に関する臨床免疫学的研究 3. 種雌馬の不受胎に関する免疫学的及び形態学的研究 4. 牛の遺伝的不良形質に対する臨床病理学的研究
人獣共通感染症学	胡 東良 (教授)	1. ブドウ球菌感染戦略の解明と新規防御対策の構築 2. 食品媒介感染症及び食中毒における細菌毒素の病原機構の解明とその制御 3. ブドウ球菌エンテロトキシンの分子構造と生物活性に関する研究 4. 食品由来人獣共通感染症の疫学とリスク管理法の確立 5. 鶏のサルモネラ及びカンピロバクターの感染防御対策に関する研究
獣医寄生虫学	筏井 宏実 (教授)	1. 動物における原虫感染症の診断及び感染防止に関する研究 2. 原虫類の宿主細胞への侵入機序の解明に関する研究 3. 野生動物を含む動物の寄生蠕虫相に関する調査研究 4. 北日本における人獣共通寄生虫病に関する研究
獣医放射線学	夏堀 雅宏 (教授)	1. 獣医療における放射線治療に関する研究 2. 細胞の放射線に対する応答に関する研究 3. 獣医療における核医学診療に関する研究 4. 獣医療における画像診断に関する研究 5. 獣医療における放射線防護に関する研究 6. 放射性物質の環境汚染と動物の体内動態に関する研究
獣医衛生学	角田 勤 (教授)	1. ロドコッカス・エクイ感染症の感染発病機構に関する研究 2. ロドコッカス・エクイの病原性プラスミドに関する研究 3. カンピロバクターの病原性に関する研究 4. 家畜の細菌感染症に関する研究
獣医伝染病学	高野 友美 (教授)	1. ネココロナウイルス感染症に関する研究 2. ネコ免疫不全ウイルス感染症に関する研究 3. ネコノロウイルス感染症に関する研究
獣医公衆衛生学	柏木 孝茂 (教授)	1. 軟部組織壊死感染症起因菌の病原機構解明に関する研究 2. 軟部組織壊死感染症に対する新規治療法の開発に関する研究
実験動物学	佐々木宣哉 (教授)	1. 腎臓病、メタボリックシンドロームの研究 2. 疾患モデル動物のゲノム解析 3. 新たなモデル動物の開発
毒性学	鎌田 亮 (准教授)	1. 生殖免疫毒性に関する研究 2. 環境汚染物質による生物への影響のメカニズム解明と毒性試験法の開発

獣医学系研究科動物資源科学専攻博士後期課程の授業科目

2024年4月1日現在

主 科 目	関 連 科 目
動物生殖学特別講義及び同特別演習 動物飼育学特別講義及び同特別演習 動物栄養学特別講義及び同特別演習 食品科学特別講義及び同特別演習 環境生物化学特別講義及び同特別演習 生物資源循環学特別講義及び同特別演習 生態環境学特別講義及び同特別演習 生物環境修復学特別講義及び同特別演習 動物資源科学特別講義	動物生理学特別講義 動物感染予防学特別講義

獣医学系研究科動物資源科学専攻博士後期課程の募集専門分野

2024年4月1日現在

専門分野	指導教員	研 究 内 容
動物生殖学	永野 昌志 (教授) 久保田浩司 (教授)	1. 家畜における卵子発生能獲得に関する研究と高品質胚の体外胚生産系の確立 2. 哺乳動物卵子および胚の低温（ガラス化）保存法の開発 3. 発育途上卵子の体外発育培養技術の開発 4. 動物園における希少動物種への人工繁殖技術の開発 5. 哺乳動物における雄性生殖系列幹細胞の自己複製の機序 6. 哺乳動物由来雄性生殖系列幹細胞の培養系の確立 7. 精原幹細胞を利用した生殖系列操作技術の開発
動物飼育学	松浦 晶央 (准教授) 鍋西 久 (准教授)	1. アニマルウェルフェアを考慮した家畜の飼育方法の開発 2. 動物介在活動・療法に活用する動物のトレーニング方法の開発 3. 動物介在活動・療法が人体に及ぼす影響の解析 4. 動物園動物の特性解明 5. 動物園における環境エンリッチメント効果の解析 6. 持続可能な開発目標に向けた家畜生産技術の開発
動物栄養学	黒瀬 陽平 (教授) 濱野 美夫 (教授)	1. 家畜・家禽における食欲調節メカニズムの解明 2. 成長及び代謝調節における味覚受容体の役割 3. 哺乳類の成長並びに代謝に対する特定波長光照射の影響 4. 家禽の消化管における栄養素の消化吸收機構に関する研究 5. 家畜・家禽の肉質改善に向けた不飽和脂肪酸の代謝調節に関する研究 6. 家畜・家禽の生産に有効な飼料資源の探索と特殊飼料の開発
食品科学	有原 圭三 (教授)	1. 乳・肉・卵を主原料とする機能性食品の開発 2. 食品タンパク質由来ペプチドの保健的機能の解明 3. メイラード反応により生成する香り成分の探索 4. ペプチドを利用した機能性ペットフードの開発 5. プロバイオティック乳酸菌の畜産食品への応用 6. 微生物等を利用した食品の安全性向上技術の開発

専門分野	指導教員	研究内容
環境生物化学	向井 孝夫 (教授)	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロバイオティクス、プレバイオティクスの利用性に関する研究 2. 消化管微生物の遺伝子発現調節機構 3. 消化管微生物の免疫に関する研究 4. 乳酸菌の酸素耐性機構の解明と分子育種 5. ピロリ菌の生存戦略因子の解明 6. 動物腸内微生物叢の解析
生物資源循環学	馬場 光久 (教授)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緑地生態系における物質循環に関する研究 2. 草本植物の多様性に影響する草地管理 3. 有機的管理を基盤とした肉用牛生産の実態およびその普及方法の確立 4. 放牧牛（肉用牛）の骨格筋特性（筋線維内脂肪滴蓄積機構の解明） 5. 農福連携で耕作放棄地に放牧した日本短角種の特性解析
生態環境学	進藤 順治 (教授) 岡田あゆみ (教授)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生物多様性の保全に関する生態学的研究 2. ハイパースペクトルイメージングセンサを用いた生産情報の取得と利活用 3. リモートセンシングによる自然生態系の評価に関する研究 4. 野生動物の比較形態学的研究 5. 野生動物生息地における環境保全に関する研究
生物環境修復学	樽屋 啓之 (教授) 森 淳 (教授)	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cd（カドミウム）汚染土壌の修復に関する基礎的研究 2. 農耕地における温室効果ガスの発生メカニズムに関する研究 3. 水田の汎用化の促進と管理に関する研究 4. 水の食糧生産性に関する研究 5. 水域環境評価と修復計画に関する研究 6. 水環境の統計的因果モデルに関する研究

海洋生命科学研究所博士後期課程の授業科目

2024年4月1日現在

主 科 目	
<p>○増殖生物学専門分野</p> <p>水族増殖学特別講義 海洋分子生物学特別講義 水族生理学特別講義 水族病理学特別講義 水族育種生物学特別講義</p> <p>○環境生物学専門分野</p> <p>魚類生態学特別講義 海洋無脊椎動物学特別講義 環境微生物学特別講義 水圏植物学特別講義 ※深海生物学特別講義</p>	<p>○応用生物化学専門分野</p> <p>食品化学特別講義 海洋生物化学特別講義 海洋生物資源化学特別講義 水族機能生物学特別講義</p>

※は客員講座（深海生物学研究室〔JAMSTEC〕所属者のみ受講可）

海洋生命科学研究所博士後期課程の募集専門分野

2024年4月1日現在

専門分野	指導教員	研究内容
増殖生物学	千葉 洋明 (准教授) 矢田 崇 (客員教授)	1. 魚類の養殖環境とストレス応答 2. ウナギ属魚類の性分化と繁殖生理 3. 回遊魚の環境適応機構 4. 魚類の免疫-内分泌相互作用 5. 淡水-汽水域の包括的資源管理
	水澤 寛太 (教授) 安藤 忠 (客員教授)	1. 魚類神経内分泌系の分子生物学的及び生理学的研究 ①光環境への適応 ②温度環境への適応 ③体色形成と体色調節 ④体内時計 ⑤生殖機能の調節 2. 魚類における栄養同化・消化系の生化学的・生理学的研究
	天野 勝文 (教授) 栗田 豊 (客員教授)	1. フグ毒の生理機能 2. 水産無脊椎動物の神経内分泌機構 3. 魚類におけるストレス系と摂食・生殖系との関連 4. 魚類の休眠に関する行動生理学的研究
	中村 修 (准教授) 筒井 繁行 (准教授)	1. 魚類体表の防御機構 2. 魚類の免疫応答における遺伝子解析 3. 胎生魚における母仔間免疫

専門分野	指導教員	研究内容
増殖生物学	吉永 龍起 (教授)	1. シオミズツボムシ個体数変動の調節機構 2. 魚介類の遺伝的多様性と生活史特性 3. 様々な水棲動物の発生過程における代謝の解明 4. 魚類の卵形成過程における代謝の理解とその応用
環境生物学	朝日田 卓 (教授) 林崎 健一 (准教授)*1	1. 沿岸性魚類等の資源・生物学的研究 2. 淡水域から沿岸域における生物生産と物質循環 3. ダム等の人工構築物が水圏環境に与える影響の解明
	三宅 裕志 (教授) 丸山 正 (客員教授)	1. 分子生物学的及び形態学的手法を用いた水生生物の分類 2. 水生生物の生活史及び生態に関する研究 3. 深海生物の生態及び飼育技術に関する研究
	小檜山篤志 (教授)	1. 微細藻類の生理生態に関する研究 2. 海洋プランクトンの生態に関する研究
	難波 信由 (准教授)	1. 海藻類の組織培養 2. 凍結保存を用いた有用藻類のカルチャーコレクションの作成 3. 海藻類の群落維持機構の解明
	<客員講座> 吉田 尊雄 (客員教授) ドゥーグル・リンズイー (客員教授) 渡部 裕美 (客員准教授)	1. 深海生物と微生物の共生関係の進化と分子機構 2. 環境 DNA を用いた海洋生物の多様性解析 3. 深海性浮遊生物の分類及び種多様性 4. 深海性浮遊生物の生態 5. 深海生物 (主に甲殻類) のプランクトン幼生分散 6. 深海生物の生物地理及び系統地理
応用生物化学	池田 大介 (准教授) 中村 洋路 (客員准教授)	1. 海洋生物におけるD-アミノ酸の生理機能と代謝機構に関する研究 2. 海洋生物におけるオピン類の代謝と生理活性に関する研究 3. 海藻硫酸化多糖の生合成機構と生物活性に関する研究 4. ゲノム情報を利用した魚類筋肉タンパク質の研究 5. 未利用海洋生物資源の高度利用に関する研究 6. 魚類の培養肉開発に関する研究
	高田健太郎 (教授) 鈴木 敏之 (客員教授)	1. フグ毒テトロドトキシン、麻ひ性貝毒、記憶喪失性貝毒などの海洋生物毒の代謝機構 2. 海洋生物毒の生合成機構と生物学的意味の解明 3. 海洋生物由来の有用物質を生産する微生物に関する研究 4. 代謝物情報を活用したウミウシの食性解析
	神保 充 (教授)	1. 海洋生物由来の生理活性物質の構造と機能に関する研究 2. 海洋生物レクチンの構造と生理機能に関する研究 3. 海洋生物の高分子機能物質の有効利用に関する研究 4. 海洋生物の石灰化機構に関する研究 5. 海洋生物の卵形成機構に関する研究

※ 1 2025年3月退任予定。後任は未定。

専門分野	指導教員	研究内容
応用生物化学	森山 俊介 (教授)	<ol style="list-style-type: none">1. 魚介類の生命現象を統御する生理活性物質のメカニズムに関する研究2. 水産未利用バイオマスを有効活用した魚介類飼料の開発3. 水圏微生物由来の新規有用天然化合物の探索4. 水圏微生物由来の天然化合物の生合成に関する研究

看護学研究科博士後期課程の専攻分野と各教員の研究テーマについて

2024年4月1日現在

●研究者コース

次の専攻分野について募集します。

受験前に必ず指導教員に連絡し、入学後のテーマ等について相談して下さい。

専攻分野の選択についての相談をしたい場合は、教務課にご連絡下さい。

各教員の研究活動の詳細は、看護学研究科のホームページの教員一覧でご覧いただけます。

教員に連絡を取る場合は、ユーザー名の後に@nrs.kitasato-u.ac.jpを追加してください。

専攻分野	指導教員 ユーザー名	研 究 テ ー マ
先端実践看護学	岡 澄子 (教授) oka.sumiko@kitasato-u.ac.jp	1. 健康問題をもつ子どもとその家族への看護に関する研究 2. 障がいのある子どもとその家族（父親、きょうだい含む）への支援に関する研究
	香取 洋子 (教授) katori	1. 母親役割獲得・母性心理・親子関係に関する研究 2. 新生児看護・NICU 看護に関する研究 3. ウイメンズヘルス看護学領域に関する研究
	柴田 真紀 (教授) Shibata.maki2@kitasato-u.ac.jp	1. 精神科の看護管理に関する研究 2. 精神科の病棟文化に関する研究 3. 看護師の感情体験と共感疲労に関する研究
	杉本 知子 (教授) tomoko.sugimoto	1. 高齢者とその家族への看護・介護に関する研究 2. 高齢者とその家族に看護・介護を提供するスタッフに関する研究 3. 転倒予防に関する研究
	長尾 式子 (教授) n_nagao	1. 生命危機状態の人と家族の療養体験に基づく多職種による医療ケア介入に関する研究 2. 非がんの人と家族の療養体験に基づく多職種による医療ケア介入に関する研究 3. 先端治療をめぐる倫理的問題と先端治療の意思決定、臨床倫理支援に関する研究
	三藤 久 (教授)	1. 肺癌の診断と化学療法に関する研究 2. 呼吸器内視鏡に関する研究
基盤開発看護学	小山友里江 (教授) koyamayu	1. 看護基礎教育に関する研究 2. スタッフ教育に関する研究 3. 機能障害を有する患者及び家族の QOL 評価に関する研究
	田中 美加 (教授) mktanaka	1. 高齢者と妊産婦のメンタルヘルスに関する研究 2. 認知行動療法の保健指導への応用に関する研究 3. 保健活動プログラムの評価に関する研究
	眞茅みゆき (教授) miyuki-m	1. 心疾患患者の効果的な疾病管理の確立に関する研究 2. 慢性疾患の在宅移行支援に関する研究 3. 多職種連携・チーム医療の評価に関する研究

●高度実践看護学（DNP）コース

次の専攻分野について募集します。

受験前に必ず指導教員に連絡し、入学後のテーマ等について相談して下さい。

専攻分野の選択についての相談をしたい場合は、教務課にご連絡下さい。

各教員の研究活動の詳細は、看護学研究科のホームページの教員一覧でご覧いただけます。

教員に連絡を取る場合は、ユーザー名の後に@nrs.kitasato-u.ac.jpを追加してください。

指導教員	研 究 テ ー マ
岡 澄子 (教 授) oka.sumiko@ kitasato-u.ac.jp	1. 健康問題をもつ子どもとその家族への看護に関する研究 2. 障がいのある子どもとその家族（父親、きょうだい含む）への支援に関する研究
香取 洋子 (教 授) katori	1. 周産期ケアの質改善に向けた介入研究 2. 新生児・NICU ケアの質改善に向けた介入研究
小山友里江 (教 授) koyamayu	1. 機能障害を有する患者のケアの向上に向けた介入研究 2. ADL 障害を有する患者及び家族の支援に関する介入研究 3. スタッフ教育の効果の検証と改善に向けた介入研究
柴田 真紀 (教 授) Shibata.maki2@ kitasato-u.ac.jp	1. 精神科病棟におけるケアの改善に向けた介入研究 2. 精神科における多職種連携及びチームアプローチに関する研究
杉本 知子 (教 授) tomoko.sugimoto	1. 高齢者とその家族への看護・介護に関する研究 2. 高齢者とその家族に看護・介護を提供するスタッフに関する研究 3. 転倒予防に関する研究
田中 美加 (教 授) mktanaka	1. 看護実践評価のための介入研究 2. 地域プログラム開発に関する研究
長尾 式子 (教 授) n_nagao	1. 生命危機状態の人と家族の療養体験に基づく多職種による医療ケア介入に関する研究 2. 非がんの人と家族の療養体験に基づく多職種による医療ケア介入に関する研究 3. 先端治療をめぐる倫理的問題と先端治療の意思決定、臨床倫理支援に関する研究
眞茅みゆき (教 授) miyuki-m	1. 心疾患患者の在宅移行支援に関する研究 2. 急性増悪をきたす慢性疾患患者の効果的な看護支援の確立に関する研究 3. 多職種連携・チーム医療の評価に関する研究
三藤 久 (教 授)	1. 肺癌の診断と化学療法に関する研究 2. 呼吸器内視鏡に関する研究

理学研究科博士後期課程の授業科目

【分子科学専攻】

2024年4月1日現在

輪 講	特 別 研 究
光物性物理学 輪講 II	光物性物理学 特別研究 II
量子物理学 輪講 II	量子物理学 特別研究 II
固体物理学 輪講 II	固体物理学 特別研究 II
分子構造学 輪講 II	分子構造学 特別研究 II
反応機構学 輪講 II	反応機構学 特別研究 II
分子機能化学 輪講 II	分子機能化学 特別研究 II
分子構築学 輪講 II	分子構築学 特別研究 II
先端理学特論、特別講義	

【生物科学専攻】

2024年4月1日現在

輪 講	特 別 研 究
生命物理学 輪講 II	生命物理学 特別研究 II
遺伝子機能発現学 輪講 II	遺伝子機能発現学 特別研究 II
幹細胞学 輪講 II	幹細胞学 特別研究 II
細胞機能制御学 輪講 II	細胞機能制御学 特別研究 II
免疫学 輪講 II	免疫学 特別研究 II
先端理学特論、特別講義	

理学研究科博士後期課程の募集専門分野

2024年4月1日現在

【分子科学専攻】		物理学、化学に立脚して分子及び分子集団の構造や動的物性を明らかにすることをめざした教育研究を行い、これを通じて生命現象を解く。	
専門分野	指導教授	教 育 内 容	研 究 内 容
光物性物理学	岡 寿樹	最先端の量子エレクトロニクス技術を用い分子や生体に対する新しい知見を求め、高度な研究技法を駆使して研究課題を深く掘下げ、その成果を博士論文にまとめる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 光と物質の相互作用ダイナミクスの研究 2. 干渉計測用光周波数制御の研究 3. 光誘起エネルギー移動の研究 4. 光励起分子の過渡分光の研究 5. 光機能性材料の研究
量子物理学	川崎 健夫 ※1 山崎 典子	時空と物質の究極の理解を目的として、素粒子物理学・宇宙物理学・数理物理学に関する新しい成果及び知見を求め、高度な研究技法を駆使して研究課題を深く掘下げ、その成果を博士論文にまとめる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 素粒子・宇宙物理学の実験的研究 2. 粒子測定技術の開発及び医療物理学への応用 3. 超弦理論に基づく時空構造の研究 4. 可積分系・非可換ゲージ場の理論の研究 (山崎) 5. 宇宙物理学の実験的・観測的研究 6. 素粒子非標準模型粒子の実験的・宇宙物理学観測的手法による探求 7. 上記にかかわる検出器とその用途技術の研究
固体物理学	三森 康義	固体、ソフトマター、タンパク質、生体物質などの凝縮系物質の電子状態や空間構造に関する新しい知見を求め、高度な研究技法を駆使して研究課題を深く掘下げ、その成果を博士論文にまとめる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 半導体ナノ構造物質の電子構造の解明 2. 量子論的固体光デバイスの開発 3. 電氣的光学的手法による生体物質の研究 4. 大規模数値計算による相転移現象の解明
分子構造学	石川 春樹	分子とその集合体の動的構造に関する新しい知見を求め、高度な研究技法を駆使して研究課題を深く掘下げ、その成果を博士論文にまとめる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. レーザー分光法を用いた気相分子クラスターにおける分子間相互作用と反応の研究 2. 新規界面活性剤の合成と溶液物性及び生体膜への応用
反応機構学	末吉 健志	化学反応における機構や分子間相互作用に関する新しい知見を求め、高度な研究技法を駆使して研究課題を深く掘下げ、その成果を博士論文にまとめる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 測定対象分子のみと結合する分子認識素子の創成 2. 電気泳動を用いた分子間相互作用解析法の構築 3. 極低温マトリックス単離法を用いた短寿命化学種の検出 4. 創薬へ光化学過程を応用することを目指した基礎研究 5. 放射線の線量測定法の開発

※1 客員教授 (宇宙航空研究開発機構)

専門分野	指導教授	教 育 内 容	研 究 内 容
分子機能化学	長谷川真士 ※ 2 相原 秀典	有機化合物の構造と物性・機能の相関に関する新しい成果及び知見を求め、高度な研究技法を駆使して研究課題を深く掘下げ、その成果を博士論文にまとめる。	1. 機能性物質の開発を指向した分子の設計と合成 2. 特異な光物性を示す色素の開発 3. 分子集合型有機ナノ構造体の創製とキャラクターゼーション (相原) 4. 有機ELや有機トランジスタ素子を高効率に駆動させる新しい有機電子材料の合成と物性評価
分子構築学	弓削 秀隆	機能性化合物合成の概念と具体的手法に関する新しい成果及び知見を求め、高度な研究技法を駆使して研究課題を深く掘下げ、その成果を博士論文にまとめる。	1. 金属酵素類似化合物の分子設計と合理的合成法開発、構造・機能相関の探究 2. 新規有機典型元素化合物の合成と構造、反応性の探索 3. 光学活性錯体の精密設計合成と応用展開 4. 鉄を活性中心とする環境調和型触媒の開拓と反応設計

※ 2 客員教授 (相模中央化学研究所)

2024年4月1日現在

【生物科学専攻】 遺伝子の働きやタンパク質の機能に関する教育研究を行い、これを通じて生物の高次機能を解く。			
専門分野	指導教授	教育内容	研究内容
生命物理学	小寺 義男 ※1 川島 祐介	生物を多様なシステムの集合体ととらえ、そのシステムの担い手であるタンパク質に着目して疾患を含む高次生命現象の理解を目指す。オミックス的視点と分子的視点を組み合わせた統合的な視点と実験技術を修得し、様々な生命現象、疾患のより詳しい理解に応用し、その成果を博士論文にまとめる。	1. 質量分析計を用いたタンパク質間相互作用ならびにネットワーク解析 2. X線・電子顕微鏡を用いた生体高分子の機能発現機構の解明 3. 疾患に関連したタンパク質・ペプチドの分析方法の開発と応用 (川島) 4. タンパク、代謝物を網羅的に探索する新規質量分析法の開発と応用 5. 質量分析計を用いた臨床検体由来のタンパク高感度分析法の開発と応用
遺伝子機能発現学	松尾 拓哉 ※2 吉種 光 ※3 吉見 昭秀	遺伝子の機能・発現調節等に関する新しい成果及び知見を求め、高度な研究技法を駆使して研究課題を深く掘下げ、その成果を博士論文にまとめる。	1. 概日時計の分子機構に関する研究 2. 脊椎動物の性決定・性分化機構の研究 3. 両生類の変態における細胞運命の決定機構に関する研究 4. 哺乳動物の冬眠の分子メカニズムに関する研究 (吉種) 5. マウスを用いた概日時計と老化や寿命の研究 (吉見) 6. 細胞のがん化における遺伝子機能の破綻に関する分子生物学的解析
幹細胞学	木村 透	哺乳類の生殖系列と幹細胞システムの成立機構について新たな成果と知見を求め、高度な研究技法を駆使して研究課題を深く掘下げ、その成果を博士論文にまとめる。	1. マウスの生殖細胞の発生と分化のメカニズム 2. 多能性幹細胞の誘導と成立機構 3. 幹細胞システムと生殖系列のエピジェネティック制御
細胞機能制御学	松田 知己	細胞生物学に関する新しい成果及び知見を求め、高度な研究技法を駆使して研究課題を深く掘下げ、その成果を博士論文にまとめる。	1. 動物細胞の接着、移動、極性形成の分子メカニズムの研究 2. アクチン系細胞骨格の制御機構の研究 3. 低分子量GTP結合タンパク質のシグナル伝達の研究

※1 客員准教授（かずさDNA研究所）

※2 客員准教授（東京都医学総合研究所）

※3 客員教授（国立がん研究センター）

専門分野	指導教授	教 育 内 容	研 究 内 容
免 疫 学	江島 耕二 ※ 4 遠藤 裕介	がんや病原微生物に対する免疫応答や疾患発症・病態形成とその制御に関わるメカニズムに関する新たな知見を求め、高度な研究技法を駆使して研究課題を深く掘り下げ、その成果を博士論文にまとめる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞傷害性細胞による細胞傷害機構の解明 2. T細胞疲弊化の機序の解明とその阻害法開発 3. 慢性炎症による臓器線維化機構の解明と自然リンパ球を用いた制御法の開発 (遠藤) 4. 免疫細胞の分化・機能を全方位から探索するためのイムノマルチオミクス解析 (RNA-seq/Proteome/Metabolome) 5. T細胞が認識する肥満特有の自己指向性免疫応答メカニズムの解明 6. 脂質代謝による“一石二鳥”の抗ウイルス応答メカニズムの解明 7. アレルギー治療のための安全で最適な免疫エピゲノム編集システムの構築

※ 4 客員教授 (かずさDNA研究所)

医療系研究科医学専攻博士課程の授業科目

2024年4月1日現在

主 科 目		共通教育科目
生体構造医科学群 分子細胞生物学 生体構造学 細胞・組織病理学 応用腫瘍病理学 分子病理学 生体反応病理学 形態形成機構学	臨床医科学群 消化器内科学 糖尿病・内分泌代謝内科学 循環器内科学 脳神経内科学 血液内科学 腎臓内科学 呼吸器内科学	医学研究倫理学 医学研究倫理学 医療人間科学 医療倫理学 医事法学 医療福祉学 医療管理学 国際保健学 国際医療環境学 臨床心理学概論 医療カウンセリング学 心理評価・解析学 医療・医学教育学 ヘルスケアビジネス
環境医科学群 労働衛生学 環境毒医科学 環境感染学 環境微生物学 法医学 環境衛生学 国際寄生虫病制御学 食予防医科学	リウマチ膠原病・感染内科学 精神科学 小児科学 放射線科学 皮膚科学 臨床検査診断学 東洋医学 臨床遺伝医学 総合診療医学	
分子病態学群 分子遺伝学 生体制御生化学 分子薬理学 分子血液学 分子病態生物学 分子細胞治療学 分子細胞神経生物学	輸血・細胞移植学 外科学 心臓血管外科学 呼吸器外科学 脳神経外科学 整形外科学 形成外科・美容外科学 産婦人科学	
生体機能医科学群 細胞・分子生理学 細胞免疫学 臨床免疫学 神経機能学 脳機能科学 生殖工学 神経・行動生物学	耳鼻咽喉科学 泌尿器科学 眼科学 麻酔科学 救命救急医学	
感覚・運動統御医科学群 視覚情報科学 リハビリテーション科学 スポーツ医学	医療人間科学群 医療心理学 発達精神医学 産業精神保健学 臨床研究企画開発学 医療経営・管理学 睡眠医科学	
医療工学群 医用生体工学 臨床工学 医療情報学 医療安全工学 医療電子工学 医学物理学 診療放射線技術学 画像情報工学 放射線安全管理学	臨床脳神経心理学 アディクション心理学 生物統計学	特別講義 特別講義

医療系研究科医学専攻博士課程の募集専門分野

2024年4月1日現在

学群	専門分野	指導教授	研究内容
生体構造医科学群	分子細胞生物学	阪上 洋行	1. シナプス可塑性における低分子量G蛋白質Arfによる小胞輸送経路の機能解明 2. 大脳皮質発達期の神経細胞移動における低分子量G蛋白質Arfによる小胞輸送経路の機能解明 3. 先天性知的障害の原因遺伝子IQSEC2/BRAG1のシナプス機能の解明 4. 記憶学習の臨界期制御に関わる分子の解析 5. 幼弱期における記憶学習の成立機構の解明
	生体構造学	小川 元之	1. 新たな検査・治療の手技やデバイスの考案 2. ご遺体を用いた臨床解剖の計画・実行 3. 形質データおよび、ゲノムデータの解析法とその解釈
	細胞・組織病理学	高橋 博之	1. 口腔癌におけるフィブリノゲンの機能解析とその臨床応用 2. 胃癌におけるフィブリノゲンの機能解析とその臨床応用
		長塩 亮	1. 腫瘍の早期診断マーカーの探索とその有用性の検討 2. 腫瘍の抗がん剤感受性予測マーカーの探索とその有用性の検討 3. 腫瘍幹細胞の特徴と診断、治療への応用についての検討
	分子病理学	※ 2 古田 玲子	今年度の募集はありません。
	分子病理学	※ 3 三枝 信	今年度の募集はありません。
	生体反応病理学	村雲 芳樹	1. DNA損傷から発癌への分子メカニズムの解析 2. 膵臓癌発生・進展に関する新規分子メカニズムの解明 3. 癌治療の新たな分子標的の探索 4. 生殖細胞発生・分化の分子メカニズムの解析 5. マウスを用いた癌細胞増殖・浸潤の解析 6. 遺伝子改変マウスを用いた発癌解析
形態形成機構学	深谷 昌弘	1. 上皮系組織構築の細胞・発生生物学的研究 2. 機能性RNAによる器官発生調節機構の解明	
環境医科学群	労働衛生学	※ 2 堤 明純	今年度の募集はありません。
	環境毒医科学	堀口 兵剛	1. 有害物質・有害環境に曝露されたヒトの集団における疫学研究 2. 有害物質・有害環境の生体影響の発現機序についての実験研究
		学群長代行	1. 産業化学物質ばく露による生体影響についての実験研究 2. 遺伝毒性検出方法に関する研究 3. 代謝酵素の遺伝子多型が化学物質の毒性発現に及ぼす影響についての実験研究
環境感染学	林 俊治	1. 人体及び環境より分離される細菌の調査 2. 人体及び環境の消毒方法の検討 3. 臨床材料から分離された細菌の薬剤感受性の調査 4. 臨床材料から分離された細菌の遺伝子型の解析 5. 具体的な感染事例のひとつをメイン・テーマとし、その制御を実際に行ってもらおう。	

※ 1 2026年3月定年退職予定。後任は未定。

※ 2 2027年3月定年退職予定。後任は未定。

※ 3 2028年3月定年退職予定。後任は未定。

学群	専門分野	指導教授	研究内容
環境医学群	環境微生物学	久保 誠	1. レトロウイルスベクターを用いた抗炎症、抗癌、創傷治癒に関する細胞治療の動物実験 2. 薬剤耐性菌における耐性機構の解析 3. 細菌・ウイルスによる感染実験
	法医学	佐藤 文子	1. 内因性急死の死因究明の解析と実態 2. 死因となったさまざまな病態の遺伝学的検索 3. 各種薬毒物の分析法の確立・標準化 4. 突然死の死因究明システムの確立
	環境衛生学	清 和成	1. 開発途上国における病原菌・薬剤耐性菌汚染の実態調査 2. 水系感染症予防に資する新規水質衛生指標の提案 3. 薬剤耐性菌と耐性遺伝子の発生源と環境中挙動の解明 4. 環境DNA/環境RNA解析による衛生動物のモニタリング 5. パルス電界印加技術や過酢酸・過ギ酸による新規消毒技術の開発
	国際寄生虫病制御学	辻 尚利	1. 自然界における感染性病原体存続機構の解明 2. 病原体・宿主・媒介動物の3者相互関係の解明 3. 感染症予防・診断・治療法の開発及び顧みられない熱帯病NTDs等の創薬 4. アフリカ、アジア諸国におけるベクター媒介感染症、NTDs等の調査
	食予防医学	内藤由紀子	1. 食用植物油摂取の循環器疾患に対する影響の研究 2. 多価不飽和脂肪酸の機能性と生活習慣病に関する研究 3. 腸内細菌叢が関与する短鎖脂肪酸の生活習慣病に対する影響解析 4. 食品の安全性に関する研究
分子病態学群	分子遺伝学	藤岡 正人	1. 細胞死（アポトーシス）の分子機序の解明 2. 高発癌性遺伝病の遺伝子解析と発症機序の解明 3. ゲノム編集に基づく遺伝病の新規治療法の開発 4. ヒト幹細胞を用いた難治性疾患の病態生理研究
	生体制御生化学	※ 2 市川 尊文	今年度の募集はありません。
		石井 直仁	1. 糖尿病性腎症の早期診断法、治療薬、予防法の開発 2. 腎症発症前糖尿病の腎臓におけるミトコンドリアとリソソームの品質管理機構の解明 3. 近位尿細管における糖・タンパク質の再吸収、脂質の代謝制御機構およびミトコンドリア機能の解析 4. 腎障害における細胞老化進行メカニズムの解明と早期診断マーカーの開発
	分子薬理学	天野 英樹	1. 様々な病態における血管新生及びリンパ管新生のメカニズム 2. 呼吸器疾患におけるVEGFR1-TKシグナル解析
	分子血液学	大津 真	1. 造血器腫瘍・血液免疫難病の病態解析 2. 血小板減少症病態解析
分子病態生物学	※ 1 堺 隆一	今年度の募集はありません。	

※ 1 2026年3月定年退職予定。後任は未定。

※ 2 2027年3月定年退職予定。後任は未定。

※ 3 2028年3月定年退職予定。後任は未定。

学群	専門分野	指導教授	研究内容
分子病態学群	分子細胞治療学	宮崎 浩二	1. 血小板の機能解析 2. 複数臍帯血移植の臨床応用 3. 造血細胞の機能解析
	分子細胞神経生物学	萬代 研二	1. 神経回路形成の分子機構の解明 2. シナプス形成の分子機構の解明 3. シナプス伝達の分子機構の解明
生体機能医科学群	細胞・分子生理学	高橋 倫子	1. 内分泌組織（膵ランゲルハンス島）の分泌機能調節機構 2. 膵島に存在するシナプス小胞様顆粒の動態解析
	細胞免疫学	末永 忠広	1. メタボリック症候群、肝炎におけるNKT細胞の役割 2. 好中球が関連する疾患発症メカニズムの研究 3. 自己免疫疾患の研究 4. ウイルスと免疫の攻防の研究 5. NETosisの制御メカニズムの解析 6. 免疫老化と免疫記憶の解析
	臨床免疫学	川村 俊彦	1. 免疫臓器としての肝臓 2. 自己免疫性肝炎マウスモデルの解析 3. NK細胞・NKT細胞・ILC1の分化・機能 4. 組織常駐リンパ球の臓器特異性 5. ストレスによる自律神経系・免疫系への影響
	神経機能学	山田 玲	1. 最適な聴覚情報処理を実現する神経回路機構の解明 2. 細胞構造や機能分子発現と神経機能の連関様式の解明
	脳機能科学	石橋 仁	1. 発達および障害によるシナプス機能の変化 2. 感覚変化の脳内機構 3. モノアミン神経系の感覚および運動制御機構における役割の解明 4. 記憶と学習の脳内機構の解明
	生殖工学	佐藤 俊哉	1. ゲノム編集技術を用いた筋萎縮性側索硬化症モデルの開発 2. 遺伝性脳小血管病・ポリグルタミン病モデルを用いた治療法開発 3. マウスの発生・生殖工学技術を用いた先天性疾患モデルの開発及び解析
	神経・行動生物学	学群長代行	今年度の募集はありません。
感覚・運動統御医科学群	視覚情報科学	石川 均	1. OCTを用い視神経乳頭を観察し正常者、視神経症、緑内障患者の相違を検討 2. 視神経疾患と緑内障の対光反射の差異に関する臨床研究 3. 470nmの短波長刺激、遮断による概日リズムへの影響を研究 4. MRIを用い眼筋周囲の結合組織、靭帯と斜視の関係を研究
		庄司 信行	1. 眼科臨床検査法における新しい方法の開発 2. 視野障害の評価方法に関する研究 3. 緑内障眼の視機能に関する研究 4. 両眼視機能の評価と応用

※1 2026年3月定年退職予定。後任は未定。

※2 2027年3月定年退職予定。後任は未定。

※3 2028年3月定年退職予定。後任は未定。

学群	専門分野	指導教授	研究内容
感覚・運動統御医科学群	視覚情報科学	半田 知也	1. 視機能検査法に関する研究 2. 弱視治療法に関する研究 3. 光波長制御レンズに関する研究 4. ビデオゲームが視機能に与える影響に関する研究 5. スポーツ視覚トレーニング法に関する研究
		神谷 和孝	1. 次世代屈折矯正手術の臨床応用と視機能評価 2. 次世代角膜クロスリンキングの臨床応用と視機能評価 3. フェムト秒レーザーを用いた角膜移植の臨床応用と視機能評価 4. 人工知能を用いた円錐角膜の早期診断法の開発と進行の評価 5. 人工知能を用いた前眼部疾患の診断法の開発
	リハビリテーション科学	東條美奈子	1. 循環器病発症・再発予防のための包括的疾患管理に関する研究 2. 心臓二次予防に向けた心臓リハビリテーション効果判定指標に関する研究 3. 健康長寿延伸を目指す新たな心臓リハビリテーションプログラムに関する研究
		※ 1 佐野 肇	1. 補聴器適合と評価法の改良 2. 聴覚中枢機能検査法の基準化に関する研究 3. 聴覚と嚥下の相互関係に関する研究 4. 聴覚と視覚の相互作用に関する研究
		原 由紀	1. 言語発達障害／吃音・流暢性障害の機序とその症状に関する研究 2. 言語発達障害／吃音・流暢性障害の評価法に関する研究 3. 言語発達障害／吃音・流暢性障害の指導効果に関する研究
		※ 3 東川 麻里	1. 音声生成機構の解析とその病態に関する研究 2. 失語・高次脳機能障害の症状とその治療に関する研究 3. 構音機構の解析とその病態に関する研究 4. 摂食嚥下機構とその病態の解析、リハビリテーションの効用に関する研究 5. 聴覚機構とその病態に関する研究
		高平 尚伸	1. 運動器におけるリハビリテーション（特に静脈血栓塞栓症予防、異常歩行、猫背などの異常姿勢や悪い座り姿勢の対策、ロコモティブシンドローム、骨粗鬆症、サルコペニア、変形性関節症）と健康寿命延伸に関する研究 2. 運動器年齢（関節年齢、筋肉年齢、骨年齢、血管年齢など）と生活習慣病に関する予防医療の研究 3. スポーツ障害の予防とトレーニング効果及びトレーニング法の実証に関する研究
		※ 1 松永 篤彦	今年度の募集はありません。
		福田 倫也	1. 脳血管疾患患者の機能障害／活動制限に対する根拠に基づいたリハビリテーションアプローチおよび評価方法の開発、効果検証に関する研究 2. 神経変性疾患患者の機能障害／活動制限に対する根拠に基づいた継続的リハビリテーションアプローチの開発

※ 1 2026年3月定年退職予定。後任は未定。

※ 2 2027年3月定年退職予定。後任は未定。

※ 3 2028年3月定年退職予定。後任は未定。

学群	専門分野	指導教授	研究内容
感覚・運動統御医学群	リハビリテーション科学	高橋香代子	1. 作業療法の効果機序に関する行動心理学理論の構築 2. 作業療法の効果を測定する評価指標の開発 3. 重度心身障害児／者のためのコミュニケーション支援と機器開発 4. 発達障害児の特性と生活上のつまづきに関する調査と介入
		今井 忠則	1. 作業中心の実践（OFP, OBP）の効果検証（臨床研究、介入研究） 2. 作業参加と健康・幸福（Well-being, QOL, 生きがい）に関する疫学的研究 3. 作業遂行中の脳血流量変化に関する脳科学的研究（実験的研究） 4. 作業の形態・機能・意味に関する作業科学的研究（質的、量的研究）
		神谷健太郎	1. 超急性期から維持期におけるリハビリテーション対象患者の評価と介入に関する臨床研究 2. 心不全患者の骨格筋評価とリハビリテーションに関する研究 3. 医療・福祉施設における身体活動量促進システムの開発と管理に関する研究 4. フレイルを合併したハイリスク患者に対する包括的管理の開発に関する研究 5. 地域在住高齢者におけるライフログと医療情報を活用した健康管理に関する研究
		横場 正典	1. 呼吸筋機能に関する基礎的・臨床的研究 2. 呼吸リハビリテーションと呼吸筋に関する研究 3. 呼吸筋筋電図計測に関する研究 4. 呼吸器疾患と呼吸筋機能に関する研究
	スポーツ医学	高平 尚伸	1. スポーツ外傷・障害・疾病に対する新しい治療体系の開発 2. スポーツ外傷・障害・疾病の予防法に関する研究 3. 超音波画像診断装置を用いた運動器の形態、機能学的な研究
医療工学群	医用生体工学	※1 氏平 政伸	1. 生体組織の低温保存状態の改善を目的とした熱工学的研究 2. 人工関節周囲応力分布の最適化 3. 医用材料の生体適合性に関する基礎的検討
	臨床工学	※2 久保田 勝	1. 生体と治療機器との相互作用に関する研究 2. 人工臓器の開発研究 3. ガスバイオロジーの応用 4. 網羅的遺伝子発現解析による病態解析
	医療情報学	稲岡 秀検	1. 生命情報学における新しいデータ処理手法の研究 2. 医療分野における新しい統計的手法の研究 3. 生体モデルを使った生体計測に関する研究 4. ネットワーク環境における医療情報システムの研究 5. ネットワーク環境における医療機器監視システムの研究
	医療安全工学	古平 聡	1. 医用電気機器と病院設備等の安全管理と安全使用に関する研究 2. 医療機器や医療材料が生体に及ぼす影響に関する研究 3. 医用電気機器の警報機能の開発に関する研究・開発 4. 医療機器におけるヒューマンインタラクションに関する研究 5. 医療機器における適切な電波環境構築に関する研究

※1 2026年3月定年退職予定。後任は未定。

※2 2027年3月定年退職予定。後任は未定。

※3 2028年3月定年退職予定。後任は未定。

学群	専門分野	指導教授	研究内容
医療工学群	医療電子工学	※1 熊谷 寛	今年度の募集はありません。
	医学物理学	長谷川智之	1. 放射線治療機器の品質管理に関する研究 2. 放射線治療技術の精度向上に関わる研究 3. 放射線と物質の相互作用に関わる研究
	診療放射線技術学	五味 勉	1. トモシンセシスにおける新しい画像再構成アルゴリズムの開発 2. コーンビームCTにおける画質改善処理に関する研究 3. マルチスライスCTにおける画質改善処理に関する研究 4. FPDを使用した画質改善処理に関する研究 5. 低被ばく線量・高画質を得るための乳腺撮影システムの開発 6. 深層学習処理を応用した画質改善に関する研究
	画像情報工学	村石 浩	1. 高感度ガンマ線コンプトンカメラの開発、及び医療応用に関する研究 2. 3次元ゲル線量計の開発と放射線治療分野への導入に関する研究 3. 陽子線治療ビームの体内可視化に関する研究 4. 次世代核医学診断装置の開発、及び画像再構成法に関する研究
	放射線安全管理学	鍵谷 豪	1. 放射線による腫瘍内細胞死の可視化技術開発とその応用に関する研究 2. PET測定画質・定量性の向上に関する研究 3. 核医学技術の臨床研究
臨床医科学群	消化器内科学	草野 央	1. 胃粘膜傷害、消化性潰瘍の発生機序の理解のための生化学的、薬理学的 手技の取得 消化器癌の発生：発育進展の分子遺伝学的機構 2. C型ウイルス性肝障害の病態解明と肝硬変、肝癌への発展への分子機構の理解 3. 消化器癌、慢性炎症性腸疾患の分子病理学的研究
	糖尿病・内分泌代謝内科学	宮塚 健	1. 糖尿病根治に向けた膵β分化機構の解明およびβ細胞再生医療の開発 2. 糖尿病における膵β細胞不全の病態解明および新規治療法の開発 3. 糖尿病の病態解明・治療法開発に向けた臨床研究 4. 下垂体疾患の病態解明・治療法開発に向けた臨床研究 5. 糖尿病治療薬の作用機序解明・薬効評価のための臨床研究
	循環器内科学	阿古 潤哉	1. 血管内イメージングを用いた動脈硬化性疾患の研究 2. 自己免疫性心筋炎・心筋症に関する研究 3. 抗・逆心筋リモデリングに関する研究 4. 不整脈基盤に関する研究 5. 心血管の再生に関する研究 6. 心血管病の再発予防に関する研究
		東條美奈子	1. 動脈硬化進展予防におけるベネフィットファクターに関する研究 2. 循環器病発症・増悪予防のための血管内皮機能評価法に関する研究 3. 携帯型循環器生理機能測定デバイスを用いた機械学習による病態評価とそれらを応用した心臓リハビリテーション実施前スクリーニングおよび効果判定指標の開発
脳神経内科学	※3 西山 和利	1. 脳梗塞の病態解明、診断、治療に関する研究 2. 自己免疫性神経疾患の病態解明、診断、治療に関する研究 3. 神経変性疾患の病態解明、診断、治療に関する研究 4. 頭痛性疾患の病態解明、診断、治療に関する研究	

※1 2026年3月定年退職予定。後任は未定。

※2 2027年3月定年退職予定。後任は未定。

※3 2028年3月定年退職予定。後任は未定。

学群	専門分野	指導教授	研究内容
臨床 医 学 群	血液内科学	鈴木 隆浩	1. 造血器腫瘍の遺伝子変異についての解析 2. 鉄過剰症が骨髄造血、腫瘍化に与える影響についての研究 3. チロシンキナーゼを標的とした阻害薬に関する研究
	腎臓内科学	※3 竹内 康雄	1. NOX2非依存性NETosisによる酸化DNA ストレスが虚血再灌流後急性腎障害の進展に与える影響
	呼吸器内科学	猶木 克彦	1. 呼吸器系の機能、病態と治療に関する研究 2. 肺・縦隔腫瘍の診断と治療に関する研究
		横場 正典	1. 呼吸筋機能の基礎的・臨床的研究 2. 睡眠呼吸障害の病態生理と治療に関する研究 3. 呼吸リハビリテーションに関する呼吸生理学的研究
	リウマチ膠原病・感染内科学	山岡 邦宏	1. 関節リウマチの活動性に関する遺伝子発現変化についての研究 2. 膠原病の中樞神経病変の発症における自己抗体の役割に関する研究 3. 膠原病における脳血管閉塞の破壊のメカニズムに関する研究
	精神科学	稲田 健	1. うつ病の治療と転帰に関する実証的研究 2. 統合失調症の治療と転帰に関与する実証的研究 3. 診療ガイドライン講習の効果に関する研究 4. 電気けいれん療法の手法と転帰に関する研究 5. 認知症の心理社会的研究
	小児科学	石倉 健司	1. 川崎病を含む小児血管炎症候群の病態解明 2. ASD新規治療デバイスの開発 3. 小児慢性疾患の成人移行に関する臨床研究 4. てんかん診療におけるTDM (therapeutic drug monitoring) についての研究 5. 小児免疫感染症 6. 小児慢性腎臓病の疫学
	放射線科学	石山 博條	1. 悪性腫瘍の放射線感受性・反応性・治癒可能性に関する放射線分子生物学的研究 2. 高精度がん放射線治療技術の開発に関する研究 3. 密封小線源治療技術の開発に関する研究 4. 悪性腫瘍の生物学的特徴・病理組織所見と画像診断との比較研究
		井上 優介	1. 新しい画像技術の開発と評価に関する研究 2. 画像を用いた人体の形態と機能の解析 3. 医用放射線の安全利用に関する研究
	皮膚科学	天羽 康之	1. 皮膚における幹細胞の分布と再生医療に関する研究
	臨床検査診断学	※2 狩野 有作	今年度の募集はありません。
	東洋医学	学群長代行	今年度の募集はありません。
	臨床遺伝医学	※2 高田 史男	今年度の募集はありません。
総合診療医学	※1 青山 直善	今年度の募集はありません。	

※1 2026年3月定年退職予定。後任は未定。

※2 2027年3月定年退職予定。後任は未定。

※3 2028年3月定年退職予定。後任は未定。

学群	専門分野	指導教授	研究内容
臨床 医 学 群	輸血・細胞移植学	宮崎 浩二	1. 血小板製剤の保存条件に関する解析 2. 複数臍帯血移植の臨床応用 造血器腫瘍の病態解析
	外 科 学	※ 3 比企 直樹	1. 癌の予後と治療法の違い 2. 癌に対する外科治療の動向と今後の方向性 3. 癌転移研究と新規癌治療法の開発
	心臓血管外科学	※ 3 宮地 鑑	今年度の募集はありません。
	呼吸器外科学	※ 1 佐藤 之俊	今年度の募集はありません。
	脳神経外科学	※ 2 隈部 俊宏	1. 脳・脊髄腫瘍の診断と治療に関する研究 1-1. 悪性神経膠腫に対する免疫療法を併用した新規治療方法の開発 1-2. 神経膠腫に対する安全で最大限な摘出方法の開発 2. 脳血管内治療に関する研究 2-1. 脳血管内治療に関する研究 2-2. 閉塞性脳血管障害の外科治療・血管内治療 3. 電気生理学的脳機能評価に関する研究 4. 頭部外傷、急性期治療に関する研究
	整形外科学	高相 晶士	1. 骨・関節の同種移植に関する基礎的研究 2. 骨折治癒過程における局所因子の役割 3. 脊椎・脊髄疾患における全身・局所因子の研究 4. 骨・関節・脊椎に由来する痛みに関する研究 5. 脊柱変形のバイオメカニクスの研究 6. 脊椎・脊髄外科手術における電気生理学的研究 7. 関節疾患の痛みに関する研究
		高平 尚伸	1. 変形性股関節症及び臼蓋形成不全症の疫学、病態、診断、保存的及び外科的治療に関する研究 2. 整形外科手術（特に股関節）の周術期における合併症対策に関する研究 3. ヒアルロン酸・グルコサミンの運動器疾患への影響に関する研究 4. 最小侵襲（MIS）整形外科手術の開発と評価に関する研究 5. 転倒骨折予防法の開発とその効果に関する研究 6. 関節再生手術（骨切り術など）に関する基礎的・臨床的研究
	形成外科・ 美容外科学	学群長代行	今年度の募集はありません。
産婦人科学	加藤 一喜	1. 陣痛の発来と制御に関する研究 2. 胎児発育障害の病態と治療に関する研究 3. 早産の病態とその治療、予防に関する研究 4. 女性生殖器悪性腫瘍の病態生理に関する研究 5. 女性生殖器疾患の分子生物学的研究	

※ 1 2026年3月定年退職予定。後任は未定。

※ 2 2027年3月定年退職予定。後任は未定。

※ 3 2028年3月定年退職予定。後任は未定。

学群	専門分野	指導教授	研究内容
臨床 医 学 群	産婦人科学	落合 大吾	1. 周産期事象に関する深層学習を用いた研究 2. 羊水幹細胞を用いた再生医療に関する研究 3. 胎児発育障害の病態と治療に関する研究 4. 早産の病態とその治療、予防に関する研究 5. 女性生殖器悪性腫瘍の病態生理に関する研究 6. 女性生殖器疾患の分子生物学的研究
	耳鼻咽喉科学	山下 拓	1. 頭頸部腫瘍に関する臨床病理学的・分子生物学的研究 2. ストレスや外的要因が引き起こす聴覚障害に関する分子生物学的研究
	泌尿器科学	学群長代行	今年度の募集はありません。
	眼科学	石川 均	1. 難治性視神経炎の治療方法・効果を全国的に調査する 2. Leber病の遺伝子に関する研究 3. 眼窩内Pulleyに関する研究 4. マウスシュレム管への坑緑内障点眼薬の影響
			庄司 信行
	麻酔科学	※3 岡本 浩嗣	循環呼吸生理学・疼痛学の基礎医学的研究（実験動物学・細胞生理学）を行う
救命救急医学	※1 浅利 靖	今年度の募集はありません。	
医 療 人 間 科 学 群	医療心理学	岩満 優美	1. 精神的健康及びストレス反応に影響を与える心理社会的要因の検討 2. 身体疾患に伴う心理的ストレスとその心理的援助方法に関する研究 3. “精神症状・気分状態、認知機能、性格”と描画などに関する研究 4. 心理士の役割や困難感に関する研究 5. カウンセリング技法と心理検査法に関する研究
	発達精神医学	水島 栄	1. 医療現場や児童福祉施設における子どもの心理ケアの技法に関する研究 2. 発達障害児の親へのCAREプログラム介入効果の脳機能と唾液中ホルモンを用いた客観的検討研究 3. マルトリートメントを経験し、トラウマを抱えた子どもの脳機能研究 4. 子育て困難家族に対する保護者支援の研究 5. 愛着と母子相互作用に関する研究 6. 発達障害児（者）の同胞の思いの研究—発達障害児・者の同胞と定型発達児・者の同胞の比較検討研究 7. 離婚・再婚による家族の移行期のための支援プログラムの開発
	産業精神保健学	※3 田中 克俊	今年度の募集はありません。

※1 2026年3月定年退職予定。後任は未定。

※2 2027年3月定年退職予定。後任は未定。

※3 2028年3月定年退職予定。後任は未定。

学群	専門分野	指導教授	研究内容
医療 人間 科学 群	臨床研究企画開発学	※ 2 蓮沼 智子	1. 臨床研究方法論の研究 2. 国際共同試験における橋渡し手法の研究 3. 国際共同試験における規制要件の研究 4. 有効性・安全性バイオマーカーの研究
	医療経営・管理学	内山 勝文	1. 医療経営の問題解決と合意形成プロセスに関する研究 2. DPCデータを用いた医療の質と経営の向上に関する研究 3. インシデントレポートを活用した、アクシデントの予防策を考察する研究
	睡眠医科学	田ヶ谷浩邦	1. 睡眠負債、概日リズムが生理機能、認知機能に及ぼす影響に関する研究 2. 睡眠不足・睡眠障害が心身の健康に及ぼす影響に関する研究 3. 精神障害の早期発見と治療・社会復帰に関する研究 4. 催眠作用を持つ薬剤による、生理機能・認知機能への影響に関する研究
	臨床脳神経心理学	田ヶ谷浩邦	1. 主に大学生を対象にしたストレスやパーソナリティ特性等に関する調査研究 2. 高齢者の心理的特徴（認知機能、パーソナリティ傾向、介護負担等）に関する研究 3. オンライン・コミュニケーションにおける印象評価や生理反応に関する研究 4. がん患者におけるカウンセリングへの好みや効果に関する研究
	アディクション心理学	村瀬 華子	1. アディクション（嗜癖）のリスク因子（衝動性、感情制御など）と予防策に関する研究（村瀬） 2. 若年者および女性のアディクション（飲酒、ギャンブル等）問題に関する研究（村瀬） 3. アルコール使用やギャンブル等を含むアディクションに関する質問紙の開発（村瀬） 4. 性犯罪等の加害行動への認知行動療法に関する研究（野村） 5. 犯罪をした者の社会復帰に関する研究（野村） 6. 再犯防止指導者のトレーニングに関する研究（野村）

※ 1 2026年3月定年退職予定。後任は未定。

※ 2 2027年3月定年退職予定。後任は未定。

※ 3 2028年3月定年退職予定。後任は未定。

感染制御科学府感染制御科学専攻博士後期課程の授業科目

2024年4月1日現在

主科目（輪講、特別研究）	関 連 科 目	特別講義	特 別 演 習
○感染制御・免疫学履修コース ウイルス学Ⅱ 分子細菌学Ⅱ 感染症学Ⅱ ○創薬科学履修コース 細胞機能制御科学Ⅱ 生物有機化学Ⅱ 微生物機能科学Ⅱ 熱帯病制御科学Ⅱ 感染創薬学Ⅱ	サイエンスコミュニケーションⅡ（英語）	特別講義Ⅱ 研究倫理・ 生命倫理Ⅱ	感染制御科学特別演習Ⅱ

感染制御科学府感染制御科学専攻博士後期課程の募集専門分野

【感染制御・免疫学履修コース】

2024年4月1日現在

専門分野	指導教員	研究内容
ウイルス学	※1 片山 和彦 (教授)	<ol style="list-style-type: none"> 腸管感染性ウイルス（ノロウイルス、サポウイルス、アストロウイルス、ロタウイルスなど）、呼吸器感染症ウイルス（コロナウイルス、RSウイルス、インフルエンザウイルスなど）の感染機構、増殖機構、病原性発現機構に関する研究 腸管感染性ウイルス、呼吸器感染性ウイルスを対象とした新規ワクチン、抗ウイルス薬、消毒薬の創薬研究 オルガノイドなどを用いた腸管感染性ウイルス、呼吸器感染性ウイルスの基礎研究 構造生物学的手法（クライオ電子顕微鏡、高速AFM、X線結晶構造解析、NMRなど）を利用したウイルス粒子、ウイルスタンパク質、核酸などの分子構造の研究 腸管感染性ウイルス、呼吸器感染性ウイルスを対象とした分子疫学に関する研究 ワクチン接種、ウイルス感染で誘導される宿主免疫に関する研究
分子細菌学	阿部 章夫 (教授)	<ol style="list-style-type: none"> ボルデテラ属細菌が産生するエフェクターの機能解析 ボルデテラ属細菌におけるIII型分泌装置の制御機構の解析 ボルデテラ属細菌におけるエフェクター宿主移行の解析 百日咳菌におけるIII型分泌タンパク質の産生条件の検討 III型分泌装置阻害剤のスクリーニングシステムの最適化 III型分泌装置阻害剤における病原性減弱における解析
感染症学	※2 高橋 孝 (教授)	2025年度の募集はありません。
免疫機能制御科学	(未定)	2025年度の募集はありません。

※1 2026年3月退任予定。後任は未定。

※2 2026年3月退任予定。

【創薬科学履修コース】

2024年4月1日現在

専門分野	指導教員	研究内容
和漢薬利用科学	※3 永井 隆之 (准教授)	2025年度の募集はありません。
細胞機能制御科学	浅見 行弘 (教授)	微生物の生産する創薬資源の探索と応用 1. 微生物の生産する抗感染症物質の探索研究 (薬剤耐性菌、寄生虫、ウイルスなどを対象とする) 2. 微生物の生産する生物活性物質の探索研究 (抗がん活性物質、ミトコンドリア機能阻害物質など) 3. モデル生物を利用した生物活性物質の探索研究 4. 抗生物質や生物活性物質の標的分子の同定研究 5. 非天然型微生物培養液からの生物活性物質の探索研究 6. 創薬シード化合物を最適化するための薬理研究 7. 創薬シード化合物を最適化するための合成研究
生物有機化学	※3 砂塚 敏明 (教授) ----- 廣瀬 友靖 (教授)	感染症及び重要疾患に対する創薬研究 1. 天然物由来の抗感染症薬 (病原微生物、結核、マラリア、寄生虫を含む) の合成研究と創薬研究 2. マクロライドの有する新作用の解明と合成研究 3. 天然物由来の有用生物活性物質をリードとする創薬のための合成研究 4. 生体・細胞機能解析のための非天然型生物活性物質の開発 5. In situ click chemistry を用いた創薬研究
微生物機能科学	稲橋 佑起 (准教授)	新規生物活性物質の発見を目指した微生物の分離・分類学的研究および二次代謝産物解析 1. 新しい微生物の発見に関する研究 1) 特殊環境(植物や深海等)からの微生物の分離 2) 微生物資源として有用な微生物分類群の新しい分離法の開発 2. 新規化合物探索のための微生物の応用研究 1) 分析(質量分析装置など)による新規物質の探索 2) 新規化合物生産のための発酵培養法の開発 3) ゲノム情報を利用した新規化合物の探索 3. 微生物二次代謝産物の生合成研究 1) 遺伝子工学的手法による有用化合物の生合成路解明 2) 生合成遺伝子改変による有用化合物の誘導体作製

※3 2025年3月退任予定。

専門分野	指導教員	研究内容
熱帯病制御科学	岩月 正人 (教授)	<p>熱帯病の治療薬開発を目指した天然化合物の探索</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 微生物の生産する熱帯病治療薬シード化合物の探索 <ol style="list-style-type: none"> 1) マラリア原虫増殖阻害物質の探索 2) リーシュマニア原虫増殖阻害物質の探索 2) 抗線虫活性物質の探索 4) 抗真菌活性物質の探索 2. 熱帯病治療薬シード化合物の構造決定 3. 熱帯病治療薬シード化合物の創薬ポテンシャルの検証 4. 熱帯病治療薬シード化合物の作用メカニズムの解明
感染創薬学	※ 4 花木 秀明 (教授)	<p>薬剤耐性菌の感染制御に向けた研究</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. MRSA, MDRP, MDRA など多剤耐性菌の耐性機序の解明と治療法に関する研究 2. 我が国における肺炎球菌莢膜血清型の疫学調査 3. イムノクロマト法による感染症迅速診断方法の開発と製品化（企業との共同研究） 4. 薬剤耐性菌に有効な新規抗感染症薬の創薬研究（学内外の研究機関と共同研究） 5. 開発品の抗菌活性評価、医療用医薬品の市販後調査などの受託研究の実施 6. イベルメクチンの新型コロナウイルスに対する創薬研究 7. 新型コロナウイルスの環境中汚染状況の研究

※ 4 2025年3月退任予定。後任は未定。